

まちづくり交付金 フォローアップ報告書  
岡山都の原風景創生地区

平成22年3月

岡山県岡山市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	来街者数	人/年	940,745	1,000,000	1,216,800	確定 見込み		あり なし	1,067,154	H21年5月		平成19年度観光客数が多かったことから推計値に差異が生じているが、傾向は年々増加しており目標も達成。 改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	来街者は増加傾向を示しており、本地区に賑わいが戻ってきていることが伺える。
指標2	歩行者等交通量	人/12h	5,074	6,089	5,478	確定 見込み		あり なし	4,734	H22年2月	×	測定時はまた岡山駅西口広場整備の施工中であり、通行可能場所が限られ、迂回したことから(特に歩行者の交通量が減少したものと考えられる。 改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	関連事業の岡山駅西口広場整備事業はH22年春完成を目指して施工中であることから、測定箇所の交通量が減少したものと考えられる。
指標3	人口	人	34,295	36,000	37,300	確定 見込み		あり なし	37,055	H21年5月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	市街地再開発事業などにより中心市街地の人口が増えていることが確認できた。
指標4	景観満足度	%	39	47	61	確定 見込み		あり なし	77	H22年2月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	景観整備の実施や、都心部の整備により地区の景観が向上した。
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月			改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	活気と賑わいと歴史的な風格が共存する都心景観形成の一層の推進	・住民によるイベント活動 ・景観形成重点地区の指定。さらに地区内において建築物の新築や増改築について、景観保全を対象とした助成制度を市単独事業で継続している。	・定期的に住民によるイベントが催されており、賑わいの持続につながっている。 ・景観形成重点地区の指定に基づき歴史的景観の保全、形成を住民とともに実施している。助成についてはH21年度においては1件実施。	・引き続き、地域住民が主体的に活動し、行政はそのサポートを行う。 ・地域住民による景観保全の継続と、地域の景観資源を官民協力して活用していく必要がある。
	都心部の回遊性、歩行者空間の快適性のさらなる向上	・自転車道と歩道を区別するための案内看板の設置を実施。 ・西川緑道公園再整備区間の拡大	・岡山駅西口筋の自転車通行帯利用率は8割以上となっており、安全な歩行者空間を創出している。 ・西川緑道公園の再整備区間を拡大実施中。再整備により、安心して歩行できる空間を創出したことから、西川緑道公園の歩行者交通量は増加している。	・都心の回遊性を高めるため、市中心部において観光客らに無料でレンタサイクルを利用してもらう社会実験を行う予定。貸し出し時に観光マップを配ることで、さらに回遊性を高め賑わいの創出を目指す。 ・引き続き、西川緑道公園再整備を実施し、都心の緑のネットワークを拡大し、歩行者空間の快適性と回遊性の向上を目指す。
	市、市民、事業者による戦略的かつ総合的な景観施策の一層の推進	・景観形成重点地区の拡充に向けて実態調査を実施。	・調査結果をもとに景観形成方針等について、検討を進めている。	・検討結果を元に、来年度中には説明会の実施。さらに地区拡充の周知と市民の景観に対する意識を一層高めるために、景観まちづくりシンポジウムを開催する予定。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	西部新拠点の南北連携の一層強化	・西部新拠点の一部である岡山操車場跡地の整備方針の検討。	・岡山操車場跡地を「福祉」「交流」「生活」の3ゾーンに分けて今後の整備を検討する基本的方向を示した。	・岡山操車場跡地の整備を具体化し、周辺の土地区画整理事業、公園整備の事業化に向けて検討を進めていく。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項